

技術・家庭科（技術分野）学習指導案（例）

令和 年 月 日
立 中学校
年 組（ 人）
指導者

1 題 材 名 【例】情報の技術でよりよい生活や社会の発展を目指そう
※題材を貫く学習課題をイメージして設定する。

2 題材設定の理由

※（１）～（３）内容が関連するように記述する。

（１）生徒について

※題材に関連する生徒の日常的な生活経験及び指導者から見た生活実態における問題点などを明らかにし、その要因を分析して記述する。（アンケート調査等を活用する）

※題材の学習展開において、予想される生徒の姿が発達段階や生徒の学習状況から見て適切かどうかなどについて記述する。

（２）題材について

※選定した題材を学習させることの意義と教育的価値、生徒に身に付けたい資質・能力について、社会的動向、家庭生活との関連から明らかにする。

（３）指導について

※生徒観・題材観と関連させ、本題材の指導にあたって配慮すべき事項について記述する。

※ねらいや学習の展開において、指導の工夫や資料・教具の活用などについて記述する。

3 題材の目標

※指導者の立場で記述する。

※「学習指導要領に示された分野の目標」並びに「題材で指導する指導事項及び解説の各内容に示されたねらい」を整理・統合して設定する。

【例】 ○○○の技術の見方・考え方を働かせ、○○○な活動を通して、○○○な理解を図り、○○○に係る技能を身に付けさせ、○○○する力や○○○する態度を育成する。

【題材目標の構造】

- | | |
|---------------|----------------------|
| ①内容 | _____の技術の見方・考え方を働かせ、 |
| ②学習活動 | _____な活動を通して、 |
| ③知識 | _____な理解を図り、 |
| ④技能 | _____に係る技能を身に付けさせ、 |
| ⑤思考、判断、表現等 | _____する力や |
| ⑥学びに向かう力、人間性等 | _____する態度を育成する。 |

4 題材の評価規準

※技術分野の評価の観点の趣旨を基に、[国立教育政策研究所『指導と評価の一体化』のための学習評価に関する参考資料（令和2年3月）](#)の「内容のまとめりごとの評価規準（例）」の要素を加えるなどして設定する。

【例】

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
【例】生活や社会で利用されている〇〇〇との関わりについて理解しているとともに、〇〇〇ができる技能を身に付けている。	【例】生活や社会の中から〇〇〇に関わる問題を見いだして課題を設定し、〇〇〇するなどして、〇〇〇する力を身に付けているとともに、〇〇〇の技術の評価し、〇〇〇する力を身に付けている。	【例】〇〇〇の実現に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、〇〇〇の技術を工夫し創造しようとしている。

5 題材の指導・評価計画（総時数〇〇時間）

※題材の内容や時間のまとめりを見通しながら、学習の見通しを立てたり、振り返ったりする場面、対話によって考えを広げ深めたりする場面等をどこに設定し、どのように組み立てるかを考える。

※学習のまとめりを踏まえて、無理なく適切に評価できるような場面を検討する。その場面において、学習の目標を達成した生徒の姿をより明確にするために、学習活動や評価方法も併せて検討しながら、評価規準の具体化、整理・統合を図る。

※国立教育政策研究所「[『指導と評価の一体化』のための学習評価に関する参考資料](#)」（令和2年3月）を参照する。

【例】

時間 指導 事項	学習活動	評価規準 ◆評価方法		
		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
2 A(1) イ	・〇〇〇について調べる。		・〇〇〇に込められた工夫を読み取り、〇〇〇の技術の見方・考え方に気付くことができる ◆レポート	・進んで〇〇〇の技術と関わり、主体的に理解し、技能を身に付けようとしている。 ◆ワークシート
1 【本時】 A(1) ア	・〇〇〇を行う。	・〇〇〇を説明できる。		

6 本時案 (○/○時間)

- (1) 題 目 ※本時の学習内容を端的に示す。例「チャットツールの改善」
 (2) ねらい ※「学習内容(～について) + 学習活動(～を通して) + 資質・能力(～できるようにする)」
 (3) 展 開

【例】 ※「課題」と「まとめ」を入れる場合は四角で囲む。「振り返り」は項目等を記述する。

学習活動	時	指導内容及び指導上の留意点	◆評価等
※生徒の立場で書く。 1 ○○○を確認する。	10	※指導者の立場で書く。 ・○○○を説明する。	
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">めあて</div>			
2 ○○○に取り組む。	30	・○○○を制作させる。	◆ワークシート ◆○○○ができる。 (知識・技能)
3 ○○○の振り返りをする。	10	・○○○を考えさせる。	

- (4) 本時の評価等 ※ねらいや評価計画との整合性を確認する。

【例】

評価の観点	おおむね満足 (B)	努力を要する 生徒への手立て	特別な支援を要する 生徒への配慮
知識・技能	○○○を組み合わせ、○○○の制作や動作の確認ができる。	○○○の制作方法について、具体例を提示し、助言・指導をする。	あらかじめ用意した幾つかの見本となるプログラムを準備し、一部を自分なりに改良できるようにする。